

発達障害者のサービス提供過程における意思決定支援方案についての探求**－日本と韓国の意思決定支援マニュアルの比較分析－**

○ ソウル大学 イ・アヨン

キム・ジュオク（ソウル大学）

キーワード3つ：発達障害者、自己主導、意思決定支援ガイドライン

1. 研究目的

最近、韓国では、障害者の個別予算制モデル事業を控え、全般的なサービスのデリバリー・システムの中、本人が主導するサポート(self-directed support)をどうすればいいのかに対する活発な議論が行なわれている(Lee et al. 2021)。しかし、まだサービス提供の現場では発達障害者の意思決定能力に対する境界の曖昧性、支援する時の具体的なマニュアルの不在などの問題により、その理解と適用が難しい実情である(Kim et al. 2020)。このような背景から初めて、日本ではサービスのデリバリー・システムの中で意思決定を支援するマニュアルが開発されたが、これは韓国に示唆するところが大きいと考えられる。したがって、本研究ではまず日本と韓国の意思決定支援に対する既存文書とインタビュー資料などの分析を通じて、発達障害者の福祉サービス提供過程の各段階に適合した核心要素を導き出すことにする。その後、実際に発達障害者に適用出来るマニュアルの骨組みを形成し提案しようと思う。

2. 研究の視点および方法

本研究では膨大な先行研究を検討し、自己決定及び意思決定支援に関する初期分析の枠組みを構成した後、既存の理論と先行研究を活用して初期コーディング範疇で主要概念または変数を識別する指示的内容分析方法(Directed Content Analysis)(Mayring, 2000; Hsieh & Shannon, 2005)に従って日本の発達障害者福祉サービス提供過程の意思決定支援マニュアルの分析を行った。本研究の分析資料は、日本における「障害福祉サービスの利用等に当たっての意思決定支援ガイドライン」である。

3. 倫理的配慮

本研究は2次資料を活用した分析を施行したので倫理的に問題となることはないと思う。ただし、本研究で研究の厳密性向上と現場の難しさを反映する為に、社会福祉専門家1名及び法学専門家1名、発達障害者保護者1名を通じて諮問を受けた。この研究は共同研究である為、研究陣同士が合意した内容を基に論文作業を進め、学会で発表する事に決めた。

4. 研究結果

研究の結果、本研究で構成した自己決定と意思決定を支援する構成要素の大部分がマニュアルに含まれている事を確認出来た。また「障害福祉サービスの利用等にあたっての意思決定支援ガイドライン」には、これらの主要要素の他に、「意思決定環境への配慮」「意思決定リスクマネジメント」「日常生活領域を含む単純意思決定領域の包括」「第三者視点提供」といった内容が追加されている事も検討出来た。ただし、「外財的動機の内在化 (Deci & Ryan, 1985)」と「志願者の文化及び背景に対する検討」、「情報の繰り返し」、「文化的、民族的、宗教的要因認知」に至る構成要素に関する内容は特に捉えられていなかった。また、本演題に関連して、開示すべき COI はない。

5. 考察

本研究による考察と含意は以下の通りである。第一に、福祉サービス提供過程で発達障害者当事者の自己決定が実質的に保障される為には、当事者の「自由」が最大限確保されなければならないが、その為には「意思決定リスク管理」が必須だということである。第二に、重大な意思決定だけが扱われるのではなく、非常に単純な意思決定の決定領域が福祉サービス選択過程に全て包括されなければならない。第三に、外財的動機の内在化過程を積極的に支援することを通じて発達障害者の認知領域を広げ、これにともなう選択肢も拡張しなければならない。第四に、発達障害者と周辺人を巡る文化的、宗教的要因が意思決定支援に重要な部分と判断されるため、これを事前に把握して反映する必要がある。福祉サービス提供過程で発達障害者の意思決定支援過程を実質的に具現することが難しいのは事実である。しかし、意思決定支援の核心構成要素に基づいたキメ細かなマニュアルが開発されれば、発達障害者が自己主導的な生活を構築していくことができるであろう。

文献

- Kim, Mi ok., Park, Ji Hae., and Jung, Min Ah., 2020, "The Study on the Practitioners' Experiences of Supported Decision Making for People with Developmental Disabilities", *Journal of Disability and Welfare*, 50: 169-197.
- Lee, Hanna., Ha, Taejeong., Eo, Yugyeong., Kim, Dongki., Shin, Kwonchul., and Choi, Bogcheon., 2021, *An operating model for personal budget scheme*, Sejong: Korea Institute for Health and Social Affairs.
- Deci, E. L., and Ryan, R. M., 1985, *Intrinsic motivation and self-determination in human behavior*, New York: Plenum.
- Hsieh, Hsiu-Fang, and Shannon, Sarah E., 2005, "Three Approaches to Qualitative Content Analysis", *Qualitative Health Research* 15, no. 9: 1277-288.
- Mayring, P., 2000, "Qualitative content analysis", *Forum: Qualitative Social Research*, 1(2).